

# ココマキリ号

## 長橋輝明さんのご冥福をお祈りいたします

ふるさと侍従川に親しむ会の草創期から事務局長として、侍従会を牽引してきた長橋輝明さんがご逝去されました。

長橋さんは、地域で青少年指導員を当時務められており、その人望から多くの地域の方が集まり、ふるさと侍従川に親しむ会（当時…大道ふるさとの生きものに親しむ会）ができました。

長橋さん始め、長橋さんのもとに集まったメンバーのパワーは凄まじく、20代前半の山田は圧倒されながらも必死についていったのでした。若く、社会経験の少ない山田に、侍従会の大人たちはいろいろと指導してくださいましたが、その中でも長橋さんは優しく見守りつつ、必要なことを教えてくださいました。後にカウンセラーへと転職されましたが、そうなるべく資質だったのでしょうか。

山田が現場のリーダーとして指揮を執るようになり、自分としては、侍従川のため集まってくる子どもたちのために邁進してきた中で、いろいろと配慮に欠けたことが多々ありました。その中でも、長橋さんはあたたかく見守り、活動に専念することができました。

侍従会は今、草創期メンバーはほぼいません。運営スタッフが若返り、28年たった今でも運営できているのも、長橋さんの有形無形の支援があったからこそだったと感謝しております。

山田のリーダーとしての至らなさや会の運営に対して…いろいろな思いもあったと思います。

侍従川や地域のことに対しての思い…いろいろと話をしたいなあと、機会を窺っていました。



© N. Kikuchi  
神奈川県社会福祉協議会機関紙  
福祉タイムズ2004年6月号表紙より

個人的にも、いろいろな子どもたちと関わる中で心理学を勉強してきた僕としては、カウンセリングを本職としている長橋さんとも話をしたかった…。

それだけに、突然の訃報はショックでしたし、虚無感も大きいものがあります。

長橋さんのいることの安心感…実際に目の前にいなくても、存在しているだけで安心できる…そんな方でした。そして、年齢関係なく、いろいろな人たちの個性を認め、その個性を愛する大らかさが、一緒にいられるととても嬉しかったです（だから、長橋さんのもとに人が集まってきたのでしょうか）。

侍従会もまだまだ課題があります。そして、徳なく代表を努めている山田もまだまだ至らないところが多々あります。長橋さんから見たら不安はいっぱいだと思われませんが、どうか天国から見守ってください。

長橋さんの大きな器や見識、存在感には、近づくことすらできませんが、少しでも天国の長橋さんが心配しなくてすむように頑張っていきます。

長橋さん、長い間お疲れ様でした…そして、本当に本当にありがとうございました！

ふるさと侍従川に親しむ会 代表 山田陽治

## コカマキリ (小螳螂)

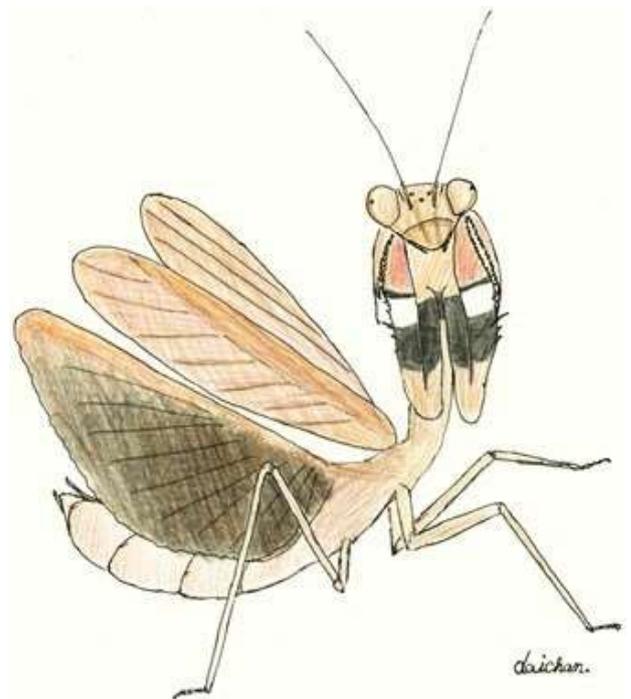
学名 : *Statilia maculata*

本州～九州に分布する中型のカマキリで、体色は茶褐色や黄土色、黒褐色とバリエーションに富む。稀に緑色の個体も現れる。前脚(カマ)の様子が特徴的で、これは威嚇体勢(イラスト参照)をとった時、両脚の様子が揃い、目玉のように見せ敵を威嚇する為と考えられている。

成虫の出現期は8月から11月で、民家や公園にも姿を現す。他のカマキリと同様に繁殖を終えると死んでしまい、卵で越冬する。

地表を歩き回る事が多く、昆虫を捕らえて食べる。敵に襲われると、カマキリにしては珍しく擬死行動をとることがある。

一般的に見られる他の種類と比較して小さい事から「コカマキリ」と名付けられたが、更に小型の「ヒメカマキリ」や「ヒナカマキリ」も存在する。



深沢大地

## 7月定例クリーンアップ

【活動報告1】

7月26日(日) 9:00~11:00 雨のち晴れ

藤間康司

実施内容：第二山王橋～二の橋(土嚢袋1袋)

参加者：飯村優介、小川和美、今井康祥、今井翔太(中3)、大野颯太、柏倉陽向(中2)、貞廣宇保(中2)、五月女陽斗(小6)、瀬戸口篤人、さいとうけい、はなつかきょうすけ(小2)、山口政祥、山口葵生(年少)、篠原瑠美子、藤井翔太(年少)、藤間康司(計17名)

気づいた点：9時から約10分にわか雨。その時点の気象情報

で激しい雨が続くもあり、かつ、上流部も雨と思われたので、念の為クリーンアップは中止と判断したものの、確認

した気象情報に反して、あっという間に晴れてしまい、9:30時点の気象情報で午前の降雨の恐れがないことと、増水も確認できなかったため、第二山王橋～二の橋間の狭い範囲で調査を実施した。最近の荒れた天候のせいか、周辺から飛ばされてきたと思われるものがあり、一袋分のゴミが集まった。遅れてきた参加者は近所に引っ越してきた親子が多く、良い機会なので、見つけた生き物と侍従会の説明をした。



## ヤンマとり大会 in 瀬上

【活動報告2】

8月22日(土) 16:30~18:30

佐野真吾

今年も学生部・瀬上さとやまもりの会共催のヤンマとり大会2020を開催しました。

2006年から始めたヤンマとり大会も今年で14年目です。14年も続けていると、ヤンマをとりまく環境も少しずつ変わっていきます。特に大きく変わったのはヤンマの発生時期です。以前は、8月後半頃は時期的にちょうど良く、たくさんの少し遅めのマルタンヤンマ、ヤブヤンマそして、少し早めのコシボソヤンマが飛んでいました。しかし、近年は温暖化の影響もあるようで、発生時期が早まり、8月後半だとマルタンヤンマやヤブヤンマは最盛期を過ぎ、コシボソヤンマが最盛期を迎えています。



とはいえ、今回もヤブヤンマ、コシボソヤンマ、コオニヤンマ等のトンボを採ることができました。来年はもう少し早い時期にやりたいですね☆

## 8月定例クリーンアップ

【活動報告3】

8月23日(日) 9:00~11:30 晴れ

山田陽治

実施内容：大道橋～泥牛橋(土嚢袋2袋)

参加者：藤間康司、今井康祥、今井翔太(中3)、佐野真吾、小池碧馬、柏倉正和、柏倉智春、柏倉陽向(中2)、柏倉陽斗(小5)、佐藤里美、佐藤和真(小3)、佐藤浩太(6才)、佐藤弥粹、はなつか秀夫、はなつかきょうすけ(小2)、はなつか龍二(6才)、江釣子真一、江釣子真平(小6)、和田崇、和田沢佐子、和田啓吾(小5)、山口政祥、山口葵生(6才)、大西領、大西奈歩、大西智木(小3)、大西哲(年長)、深沢大地、金子英司、貞廣宇保(中2)、高橋悠紀(小6)、五月女陽斗(小6)、亀岡譲(小6)、吉原大地(小4)、山田陽治(計35名)



気づいた点：ごみが少なかった。掘削工事した明戸橋近辺が土砂堆積で元にもどりつつある。

## 侍従川上流たんけん

【活動報告4】

8月30日(日) 10:30~14:00

**貞廣果南(小4)** わたしは、「侍じゅう川上流たんけん」にさんかしました。深いところには、アメンボが多くておどろきました。草の多いところであみをガサガサするとヤゴがとれました。みんなは魚やモクズガニをとっていました。上流に進んでいくと、少しにごっていました。

とちゅうで山田さんが「あみをおいて!!」と言ったのでおいてみると、魚が5~6匹ぐらいとれました。バケツに入れて進んでいると、足もとがぬるぬるしていて、すべってころんだ時に、魚が4匹ぐらいにげてしまって、2匹になってしまいました。せまいトンネルのようなところは、どうくつをたんけんしているみたいで暗くて少しこわかったです。

お昼ごはんの後、バケツをのぞいたら、魚は2匹ともいませんでした。

どんどん歩くと、草がいっぱいだったり、急に深かったり石がゴツゴツだったり、歩くのにひっして何もとれませんでした。でも、みんながとった生き物をみせてもらいました。たいへんだったけど、また行きたいです。



**磯邊隆** 先日行われたジュニア探検クラブの『侍従川上流たんけん』に参加させて頂きました。実は実際に川に入るのは今回が初めてでした。

普段は多摩川や多摩川の支流の野川で活動しているのですが、水温はやや高め。侍従川は中流でも水温 25 度位でとても気持ち良かったです！ 長さの短い三浦半島らしい川でした。

大道一丁目緑地(ちとせ園)付近ではチチブやウキゴリ、スミウキゴリの生息密度が非常に高かったですね。ガサでひと網で 5~6 匹入りました。ついでシマヨシノボリ、ボラ、ミナミテナガエビ、モクズガニがいました。

モクズガニはかなり大ぶりのものも入り、山田さんいわく今年ば“当たり年”だそうです。ここで、ちとせ園~大道橋までの間で見つけた生きものの解説が一度あり、ひたな君の丁寧な解説に参加者も聞き入っていました。

あ、私もミシシippアカミミガメの若い個体を捕獲し、解説させて頂きました。

割と長さのある暗渠を抜けて常林寺でお昼タイム。ヤマトタマムシやクビアカツヤカミキリ、キクイムシの話で盛り上がりました。

更に上流を目指します。片側はラピュタのようなつるや根のはった岩盤です。でも底は整備されて岩もコンクリに埋められています。不思議な河川です。

生物の密度は減りましたが、比較的上流部の生物が確認できました。コオニヤンマのヤゴ、ミゾレヌマエビ、シマヨシノボリ、捕まえられなかったけど飯村さんがサワガニも確認しています。大きめのガガンボの幼虫はミカドかな？

すごい不安定な態勢で山田さんが解説してくれました。とここで蛇ハンター今井さんがアオダイショウの幼蛇を捕獲！ 安定の素晴らしい眼力ですね！

ということで初の侍従川の中、堪能させて頂きました。

普段のフィールドとは違い、大変新鮮でした♪



# 琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～

## ～ アサトカラスヤンマ ～



ヤゴ 渡嘉敷島産

学名：*Chlorogomphus*

*brunneus keramensis*

体長：♂ 72mm、♀ 77mm

分布：慶良間諸島（阿嘉島・

交尾態 阿嘉島産

渡嘉敷島）

沖縄諸島から奄美群島、四国まで生息するミナミヤンマの慶良間諸島亜種で、1969年トンボ研究家の安里進氏により発見された「幻のトンボ」と言われています。オニヤンマに近いトンボでヤゴ(幼虫)もよく似ています。

オスの羽は透明で、メスは黒い羽をしており、これが和名の「カラス」の由来になっています。普段は立ち入るのが困難な島の奥地にある溪流に生息し、縄張り飛翔、産卵をしています。稀に日当たりの良い林道で悠々と飛翔する姿を見ることが出来ます。沖縄県版レッドデータブック 絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

監修：熊井健（沖縄在住）

生き物発見記録：深沢より

5/16（土）アカマダラハナムグリを採集：金沢区六浦

5/17（日）ヤマトクロスジヘビトンボの成虫を採集：金沢区東朝比奈

6/3（水）タカチホヘビを採集：金沢区六浦

6/4（木）スジクワガタ♂を採集：侍従川流域

6/12（金）スジクワガタ♀を採集：侍従川流域



アカマダラハナムグリ



ヤマトクロスジヘビトンボ



タカチホヘビ



スジクワガタ♂



スジクワガタ♀

## 朝夷奈の森通信 ~森の忍者より~ 飯村優介

6月の森はシオデなど初夏の山野草が旬。夜は蛍調査とクワガタ調査。6月のクワガタは、コクワガタ、ノコギリクワガタは多く見られた。1位コクワ、2位ノコ。この地域では希少種のヒラタクワガタも確認。良い成果だ。

7月は長梅雨。晴れ間の森へ行くと、アカヤマドリ、ヤナギマツタケと美味キノコが登場。セミも賑やかになる。7月下旬にクロカナブン、これはカブトムシの目安になる。

8月上旬にカブトムシ出現。朝比奈の森はカブトムシは遅めだ。昼はスズメバチ、カナブン、ヒカゲチョウが樹液に集まる。スズメバチも良い樹液を出す働きをする。夜はカブトムシ、クワガタの仲間が強い。

流域は原流の森の豊かさに加えて河口の先の野島も見逃せない。夏の大潮の満潮時のアカテガニの観察もおもしろい。



コクワガタのペア



ノコギリクワガタ



ヒラタクワガタのオス



アカヤマドリ



ヤナギマツタケ



カブトムシのペア



アカテガニ

生き物発見記録：飯村より

7/1 (水) 昼前 ノウサギを目撃：朝比奈北市民の森出口の緑地、小雨

8/21 (金) 18:10 ホンドタヌキを目撃：鎌倉市と金沢区と栄区の境、天園ハイキングコース横断

8/29 (土) 18:15 ホンドタヌキを目撃：8/21より東100m、鎌倉市と金沢区の境の尾根道

☆お知らせ☆ 大道在住の塩嶋さんに、侍従川定例クリーンアップ&生きもの調査案内パネルを作成してもらいました。塩嶋さんありがとうございました。

北の国から ～流行りの雪の妖精～ 瀧本宏昭

現在、日本国内で記録されている野鳥の種数は633種ですが、ウトナイ湖ではその約3分の1以上の260種類が記録されています。多くの種類を見ることができるため、たくさんのバードウォッチャーがウトナイ湖を訪れます。そのこともあってか、ネイチャーセンターに勤めていると、「鳥はどこで見れますか？」と質問されることがよくあります。数々の質問の中で、ここ数年で特に増えているのは「シマエナガはどこで見られますか？」です。ほかの種類で具体的な名を挙げて質問されるとは少ないのですが、シマエナガだけは例外です。少し調べたところ、シマエナガの可愛さから流行しているようです。

「シマエナガ」は、「エナガ」の亜種で、北海道全域と東北の一部に分布しています。エナガ自体は横浜でも観察できます。顔の模様には大きな違いがあり、エナガは目の周辺に黒色が入るのに対して、シマエナガは黒色無く頭が真っ白です。そのため、正面から見ると白い毛玉のように見え、インターネットの一部で雪の妖精と呼ばれているのを見かけたことがあります。シマエナガは一年中林で見られ、枝先を移動しながら何かをついばんで食べているのをよく見かけます。秋から冬には群れになるため、その時期に遭遇するとシマエナガに囲まれファンにとっては至福の時を過ごすことができるのではないのでしょうか。ただ、よく動き回るので、他の野鳥に比べて写真を撮るのは難しい印象です。

シマエナガもかわいいですが、そこから他の野鳥にも興味が派生してくれた良いなと感じています。



私の技術では、かわいい写真は撮れません

トピックス

6/7 (日) 観音崎自然博物館ジュニア生物調査隊が侍従川生物調査

6/24 (水) 神奈川県横浜川崎治水事務所と草刈りについての現地打合せ…山田が対応

6/28日 (日) 定例クリーンアップが雨天のため中止

7/7 (火) 業者による草刈り (山王橋～かすみ橋)

7/7 (火) 六浦小5年生の侍従川生きもの調べ (六浦二号橋～侍従橋) …飯村、山田が対応

7/11 (土) やまだようじ自然塾 ナチュラリスト養成講座～淡水ハゼを学ぶの巻～講師…内田大貴氏 ⇒

7/14 (火) 大道小との顔合わせ会 大道小学校：加藤校長、落合副校長、富岡先生、服部先生、当会：山田、飯村、河本が出席



8/15 (土) やまだようじ自然塾「親子魚釣り教室」(主催: 自然体験教育研究会 NEES) が侍従川中流域で開催

8/31 (月) フリースクール自然のがっこう「ガサガサで魚釣り」(主催: 自然隊員教育研究会 NEES) 開催

9/2 (水) 六浦南小学校4年生が侍従川体験…山田が対応

☆コロナ禍のため中止の活動: ホタル調査、いかだ川下り大会

## 侍従川調査報告 学生部

2020年8月23日(日) [クリーンアップ調査]

【調査範囲】 第二山王橋～二の橋 【記録】 深沢

【採集した生物】 チチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ゴクラクハゼ、シマヨシノボリ、ビリンゴ、ヒナハゼ、ミミズハゼ属の一種(※侍従川初記録: 貞廣氏採集)、マハゼ、アユ、ボラ、テナガエビ、ミゾレヌマエビ、モクスガニ、クロベンケイガニ、アカテガニ、タイワンシジミ、カワニナ、モノアラガイ、イシマキガイ、コシボソヤンマ(幼虫)、ヤマサナエ(幼虫)、ミシシippアカミミガメ、クサガメ、ヒバカリ、アオダイショウ



ミミズハゼ属の一種 侍従川ミニミニ水族館 藤間、貞廣、柏倉、五月女が解説

## 事務局だより

### ◆9月以降の活動予定

☆定例クリーンアップ9/27(日)、10/25(日)、11/22(日)、12/27(日)

9時～11時 大道一丁目緑地(ちとせ園) 集合 ※雨天中止

持ち物: 川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人) ※川の上からの参加でも構いません

☆10/4(日) ハゼ釣り大会

☆11月 秋の恵みをいただこう! 源流の森ハイキング

☆12月 冬の森探検

## ■学生部の活動

- ☆定例調査（定例クリーンアップ後に実施）9月、11月は下流域、10月は上流域
- ☆11月～3月 水鳥調査
- ☆12月 野島公園での夜の干潟観察会
- ☆12月、1月 大道溪谷整備

### << 新型コロナウイルスの対応について >>

9月以降も例年どおりの活動を予定していますが、状況により変更・中止となることがあるので、活動の詳細は、ホームページ及びメーリングリストでお知らせします。ご了承ください。

### <<2020年度会費納入のお願い>>

**年会費の納入をお忘れではないですか？ 今年度の会費をまだ納入されていない方は、納入をお願いいたします。**

**口座番号：00230-5-68634 加入者名：ふるさと侍従川に親しむ会**

**年会費：家族4,000円、大人3,000円、学生部・ジュニア1,500円**

**※家族会員は、家族であれば、何人でも4,000円です。**

現金での支払いは間違いのもとになりますので、必ず郵便局払込取扱票〔青色：払込料金払込人負担〕（前回の会報に同封）での振り込みをお願いします。

**【会員情報の記入のお願い】** 通信欄に以下の情報を記入してください。

**①会員種別（家族、大人、学生部・ジュニア）、②お名前（全員分）、③会報郵送希望の有無**  
※会員情報を記入していただかないと郵送物（総会のお知らせ・会報等）をお届けすることができないので、振り込む前に必ず確認・記入をお願いします。

なお、継続会員で、かつ転居など会員情報に変更がない場合、銀行からの振り込みも受け付けますのでご利用ください。

◆ゆうちょ銀行からの振り込みの場合

**口座番号：00230-5-68634 ふるさと侍従川に親しむ会**

◆他の銀行からの振り込みの場合

**銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：029 預金種目：当座**

**店名：〇二九店（ゼロニキュウ店） 口座番号：0068634**

問合せ：スタッフ又は [jijyukai@gmail.com](mailto:jijyukai@gmail.com) まで

《編集後記》 今回、まさか長橋さんの訃報を載せることになるとは。一時期体調を崩されていましたが、その後は時々クリーンアップにも参加されてお元気そうだったのですが…。侍従会になくってはならない方でした。ご冥福をお祈りいたします。(MK)